

教科目標

臨床工学技士科

養成目的

本校では、現在と将来の臨床現場で生きる確かな技術と知識を習得し、チーム医療の一員として最先端の高度医療から地域医療を担うことのできる豊かな社会性と人間力を身につけ、医療業界の発展に寄与できる人材を輩出することで社会貢献することを目標としています。

臨床工学技士は、救急救命の現場から在宅医療まで幅広い領域で業務を担います。医師の指示に従って医療機器を操作することが基本になりますが、現在の医療現場では積極的に患者さんの状態を把握し、他職種と連携しながら医療機器の安全で効果的な使い方を提案していく能力も必要とされています。また、他職種だけでなく患者さんに関わる場面も多いことから、高いコミュニケーション能力も必須となります。

教育目標

国家試験に合格する基礎学力を身につけるだけでなく、日々進歩し変化しつづける臨床現場に臨機応変に対応できる柔軟な思考と専門的知識を身につけます。また、社会人として周囲のスタッフと協力し良好な関係を築けるコミュニケーション能力と姿勢を身につけます。

取得目標資格

1. 臨床工学技士（国家資格）
2. 第1種、第2種 ME 技術実力検定試験（第1種は希望者のみ）

就職分野

1. 病院（国公立病院、大学病院、私立総合病院等）
2. 個人病院、診療所、クリニックなど
3. 医療機器製造販売企業
4. その他

職種

臨床工学技士（CE : Clinical Engineer）

